



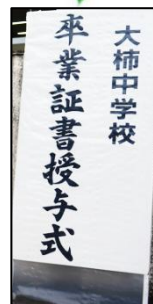
【学校教育目標】「誠」を校訓として、人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる  
～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～

## ご卒業おめでとうございます！ 卒業生19人が旅立ちました！



3月6日(金)、第50回卒業証書授与式を挙行了しました。雨が心配されましたが、卒業生たちの門出を天も祝うかのようにお見送りまで持ちこたえました。お越しいただいたご来賓、地域、保護者の皆様、誠にありがとうございました。卒業式に臨む在校生や卒業生の姿が目に焼き付いています。呼名のときの自信をもった力強い返事、国歌・「仰げば尊し」「大柿中学校校歌」の響き渡る歌声、思いのこもった送辞や答辞など、全てにおいて立派な式であったと感じます。

卒業生の皆さん、ありがとう、そしてそれぞれのこれからの人生に向けて、本校で培った力をさらに伸ばし、羽ばたいてください。皆さんのご健康とご活躍を祈念しています。



### 学校長式辞 (一部抜粋)

卒業生の皆さんは、様々な場面で素晴らしいリーダー性を発揮しました。

学習面では、特に部活動を引退した夏休みから、自己の生き方を追求し、自分の希望する進路に向けて自主的に学校に登校し、学習に取り組みました。二学期以降も授業に集中し、主体的に放課後自主学習を継続しました。三年生たちが協働してひたむきに努力を続ける姿にとっても感動しました。卒業生の皆さんは、最高学年として「**大柿中学校に協働して主体的に学ぶ文化をつくる**」とともに、大きく成長し地域に誇れる学校を創り上げました。これらの経験を自分の自信にしてさらに成長してください。夢や目標を大切に、大逆転できる生き方に学び、自己の生き方を追求していきましょう。人と比べるのではなく、今の自分を原点として、これからの自分をどのようにプラスにしていけるかが大切です。困ったときはこれまでともに学んできた仲間と相談したり、逆に困っている仲間を見かけたときは優しく声をかけて相談にのったり、これまでともに生活してきた絆を大切に、困難な壁を乗り越えるレジリエンスを高め合っていきましょう。これからの人生において、健康第一で、まわりの人とのかかわりを大切に、希望と感謝の心を持って、平和な世の中を築き、地域の方々と共に、安心して過ごせる社会をつくる人になってください



### PTA会長祝辞 (一部抜粋)

本日、大柿中学校を巣立つ卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

この3年間、皆さんは勉強や部活動、学校行事など、様々な経験を通して大きく成功されました。時には思うようにいかないこともあったでしょう。しかし、その一つひとつを乗り越えた日々こそが皆さんの力となり、これからの人生を支える土台となります。これから皆さんが歩んで行かれる道は、今まで以上に広く、そして時に険しいものになるかもしれません。新しい環境では、自分の力を試される場面も増えるでしょう。しかし、どうか恐れずに一歩を踏み出してください。失敗を恐れず、挑戦を楽しみ、学び続ける姿勢を忘れないでください。皆さんの中には、この3年間で培われたレジリエンスが、困難を乗り越えてきた強さや経験があります。それらは、これからの人生で必ず皆さんを支えてくれます。どうか、自分の可能性を信じ、仲間や家族、そして自分自身を大切にしながら、未来へと進んでください。皆さんのこれからの道が、希望と笑顔に満ちたものでありますよう、心から願っています。

大柿中学校のさらなる発展と、在校生の皆さんの健やかな成長をお祈り申し上げ、私の祝辞といたします。



## 在校生代表送辞（一部抜粋）

先輩方と過ごした時間は長いようで短い二年間でした。今でもその頃の記憶は鮮明に覚えています。振り返れば、先輩方との数え切れない思い出が、宝物のように心に残っています。特に印象に残っているのは、体育祭です。体育祭では、練習の時から、ダンスやソーラン節の動きなどを、優しく丁寧に教えてくださいました。そして何より体育祭自体を引っ張ってってくださいました。応援の部では、先輩方と肩を並べ、円陣を組んで一緒に声を張り上げました。あの瞬間、大きな声とともに、ぼくたちの心には大きな勇気が湧き上がりました。

卒業生の皆さんにとって今日という日は、全力で駆け抜けてこられたゴールラインであると同時に、自分の夢へと向かうスタートラインでもあります。

スタートラインに立つということは、喜びと同時に、新たな壁も超えていけないということだと思います。そういった場面でも、先輩方それぞれの「My color」を活かして、自分らしく新しい道を切り拓いてってください。

これから先輩方の進む未来が、これまで以上に光り輝く素晴らしいものになることを在校生一同心から願っています。改めまして、ご卒業おめでとうございます。



## 卒業生代表答辞（一部抜粋）

一年生、「協力・挑戦」という学級目標を掲げ、スタートしました。宿泊研修では、最初は小さかった校歌の歌声は、仲間と支え合う中で次第に大きくなり、成長を感じることができました。初めての行事や部活動では期待と不安を胸にしながらも、みんなで一つの目標に向かって協力することの大切さを知りました。

二年生、修学旅行では、関西を訪れました。三日目は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを訪れました。校長先生を含め、クラス全員でフライングダイナソーに乗りました。忘れられない宝物のようなひとときとなりました。この19人全員で修学旅行に行くことができとてもよかったです。

三年生、文化祭では、企画したダンス、合唱コンクールでは「群青」を歌いました。ダンスでは「ようかい体操第一」の練習やダンス前の劇の原稿を考え、その練習を行いました。合唱練習では、最初は音程も取れずみんなの息も合わなかったりと、大変なことがありました。この練習で、笑ったり泣いたりした日々は一生の思い出です。文化祭当日、これまで練習してきたことを120%出し切りました。ダンスでは場を盛り上げ、合唱コンクールでは三年間で初めての最優秀指揮者賞、最優秀ピアニスト賞、最優秀賞の三つの賞を取ることができました。間違いなくこの一年間は、かけがえのない時間を過ごすことができ、当たり前だった日常生活の尊さに気づくことができました。楽しいことも苦しいことも今となれば最高の思い出です。

三年生のみなさん、「今 旅立つ日 見える景色は違って 遠い場所で 君も 同じ空 きっと見上げてるはず」 お互いの道をしっかりと歩んで行きましょう。私達なら、きっと何があっても大丈夫です。

在校生のみなさん、先生方、保護者の方々、私達が成長していく姿を見守ってください。最後になりますが、ここまで私達を支えてくださったすべての皆様に深く感謝を申し上げます。大柿中学校のますますのご発展と在校生のご活躍をお祈り申し上げ、卒業生の答辞とさせていただきます。

